記者発表資料

平成２７年３月２３日
国土交通省東北地方整備局
仙台河川国道事務所

三陸沿岸道路『桃生登米道路』全線開通後の整備効果
～地域産業･観光の活性化や被災地の復興等を支援～

三陸沿岸道路の一部を構成する『桃生登米道路』は、平成21年3月22日に、桃生豊里IC～登米IC間の全線が2車線で開通しており、約6年が経過しました。
今回、開通後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

①地域産業・経済・観光の活性化や救急医療活動等を支援

■桃生登米道路の開通等により、登米市への企業進出が加速し、新たに工業団地を整備するなど、地域産業・経済の活性化に寄与

■登米市全体の観光客数が約２割増加するなど、観光振興による活性化に寄与

■登米市から石巻赤十字病院への救急搬送が約２倍に増加するなど、迅速・安定的な救急搬送を支援

②緊急輸送道路としての信頼性向上に寄与

■災害による通行規制が多い国道４５号の代替路として機能を強化

■東日本大震災時に緊急物資輸送道路として機能し、震災後は復興道路として復興事業等による交通量増加に対応

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ＞

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局 仙台河川国道事務所
TEL 022(248)4131(代表)

副　所　長　田口（たぐち）　和弘（かずひろ）　内線205

調査第二課長　武田（たけだ）　哲英（てつひで）　内線451

平 成 ２ ７ 年　 ３ 月 ２ ３ 日
国土交通省　仙台河川国道事務所

一般国道４５号【三陸沿岸道路】

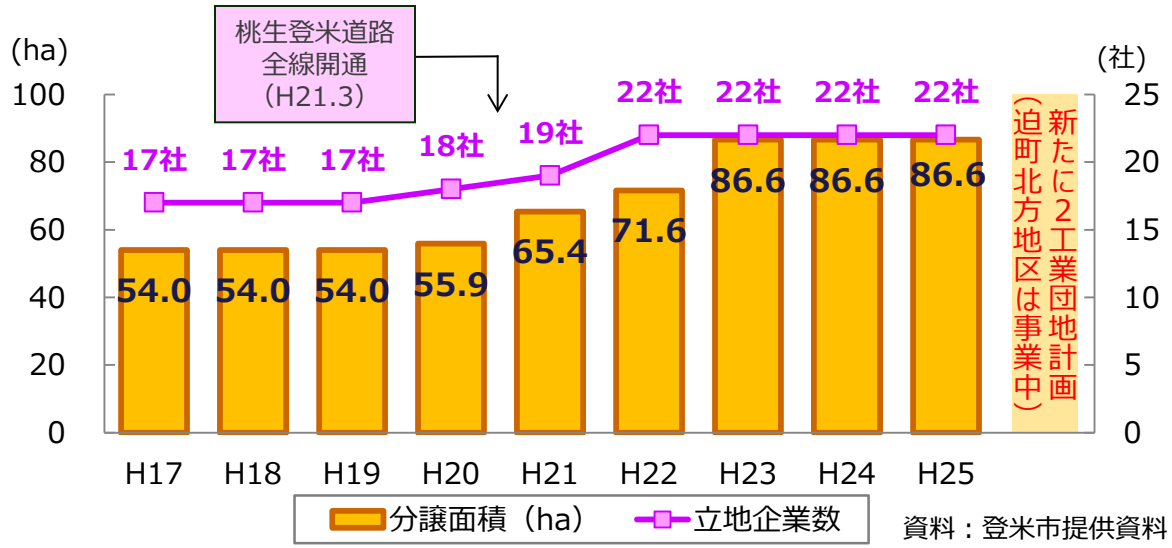
桃生登米道路（ものうとよま）　整備効果

【事業経緯】
- 平成　5年度　事業着手
- 平成19年度　桃生豊里IC～桃生津山IC間開通
- 平成20年度　桃生津山IC～登米IC間開通
  〔全線2車線開通〕

登米市内の企業立地促進など、地域の産業・経済の活性化に寄与

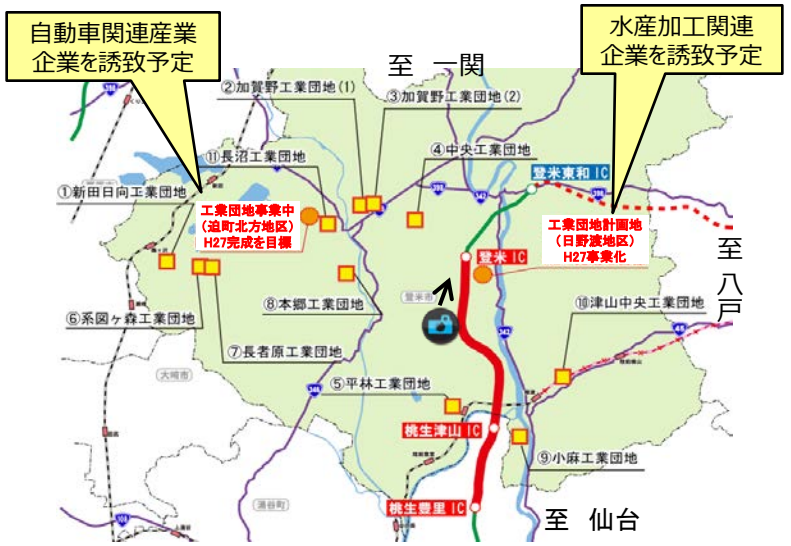
◆桃生登米道路の開通等により、登米市内への企業進出が加速。
◆登米市内において、新たな工業団地を2箇所（日野渡地区、迫町北方地区）で事業化。
◆日野渡地区工業団地（H27事業開始）は、桃生登米道路からの利便性を考慮し、登米IC付近を選定。

▼登米市内工業団地における分譲面積、立地企業数の推移



資料：登米市提供資料

▼ 桃生登米道路周辺の工業団地立地状況



■登米市新産業対策室の声

○桃生登米道路の開通により、登米市から石巻や仙台方面へのアクセス性が向上し企業の進出や誘致がしやすくなった。
○市内11工業団地では、平成23年度から分譲率が100%であり、新たに工業団地を整備する計画。
○桃生登米道路の登米IC近くの日野渡地区工業団地は、利便性を重視して、選定した。
○石巻と三陸沿岸の中間地点という地の利を活かし内陸で水産加工という新たな展開に期待をしている。

資料：H25.11登米市新産業対策室ヒアリング

■周辺企業（製造業）の声

○桃生登米道路の開通により、搬送にかかる移動時間が短縮したことで、競合企業に対して距離による劣位性を解消することができ、石巻市まで営業範囲の拡大に繋がった。

資料：H25.12桃生登米道路周辺企業ヒアリング

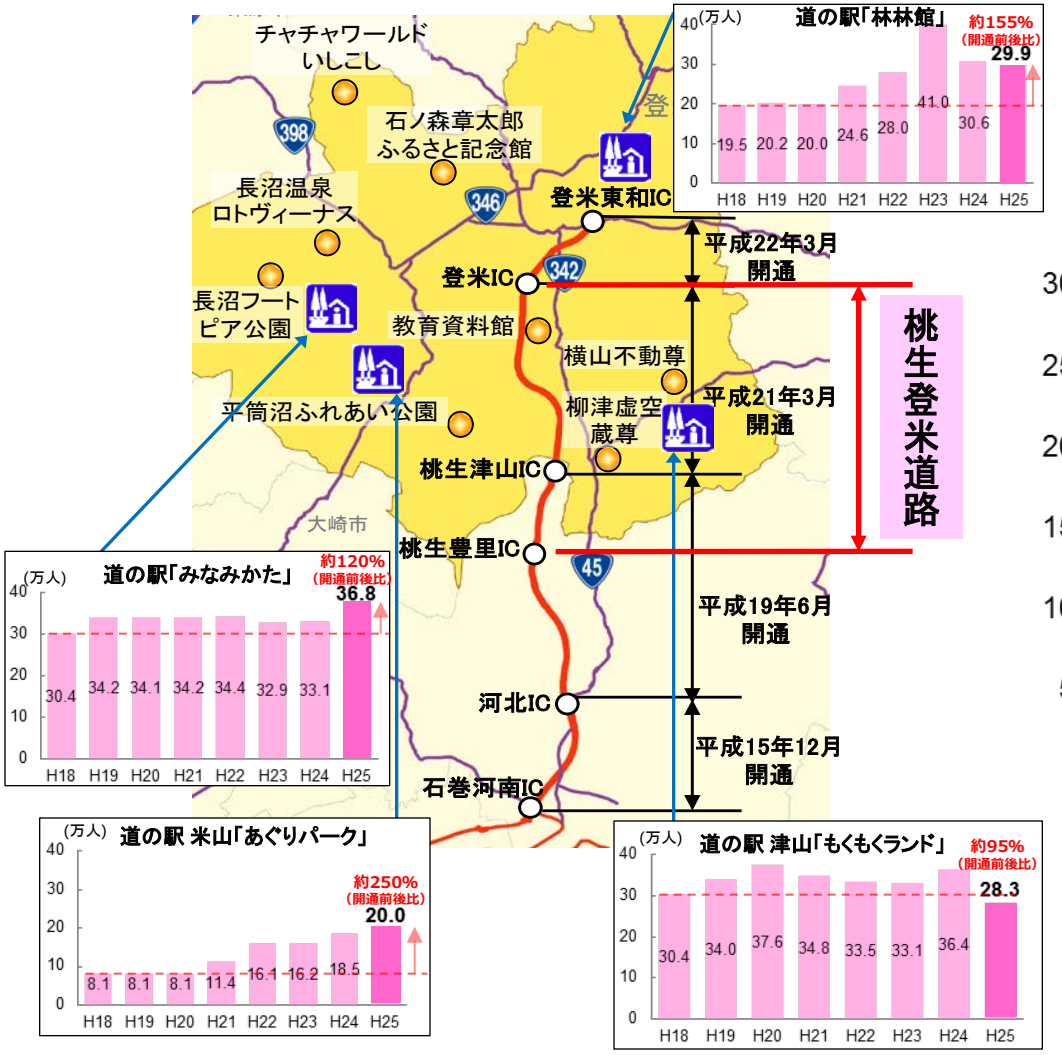


▲ 隣接地に新設工業団地が計画されている登米ＩＣ

登米市全体の観光客数が約2割増加するなど、観光振興による活性化に寄与

◆桃生登米道路の全線開通以降、登米市内の道の駅（4箇所）の観光入込客数は年間100万人以上を確保。
◆登米市全体の観光入込客数も約20%増加しており、観光振興による地域活性化に寄与。

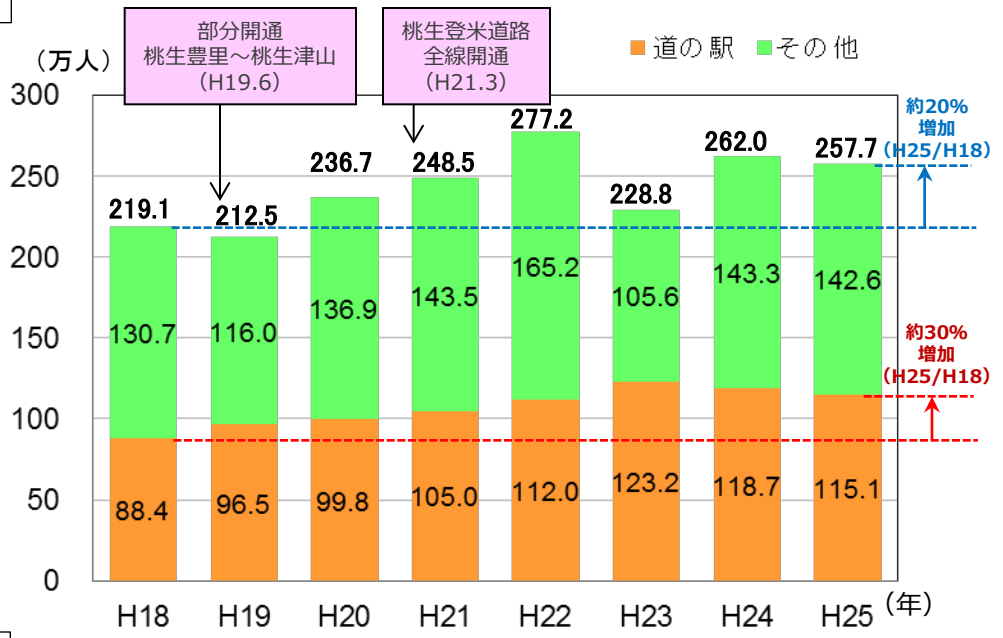
▼ 登米市の主要な観光施設及び道の駅入込客数







▼ 登米市における観光入込客数の推移



資料：宮城県観光統計

■道の駅米山　あぐりパーク　駅長の声

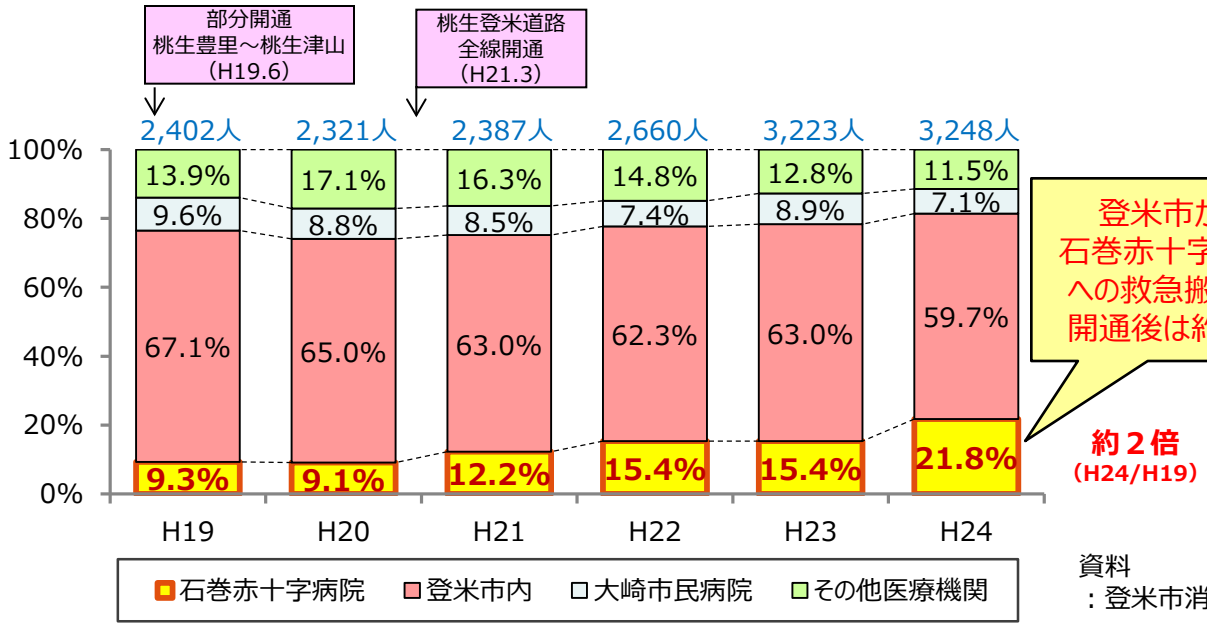
○桃生登米道路の開通により、登米市への観光客の増加を実感している。
企業努力の実施も含めてではあるが、全線開通前（H20）に比べ当施設への入込客数は、順調に増加しており、H24は18万5千人と10万人以上増加している。

資料：H25.12道の駅ヒアリング

迅速・安定的な救急搬送が可能となるなど、救命率向上等に寄与

◆登米市からの救急搬送は、三陸沿岸道路を利用し救急車退出路を活用することで、搬送時間が短縮。
◆桃生登米道路の開通以降、登米市から石巻赤十字病院への救急搬送割合は、開通前から約2倍に増加。

▼ 登米市の医療機関別搬送割合の推移



登米市から石巻赤十字病院への救急搬送が開通後は約2倍

約２倍
（H24/H19）

資料
：登米市消防本部

▼ 登米市消防署各拠点から石巻赤十字病院への救急搬送件数（平成２４年度）



資料：登米市消防本部

■消防本部の声

○桃生登米道路の整備、救急車退出路の整備により登米市から石巻赤十字病院への搬送時間が５～１０分ほど短縮した。

○桃生登米道路は、一般道より路面が安定しており、走行性が良いため、搬送患者に与える負担、運転手の心理的負担が軽減された。

資料：H25.11登米市消防本部ヒアリング

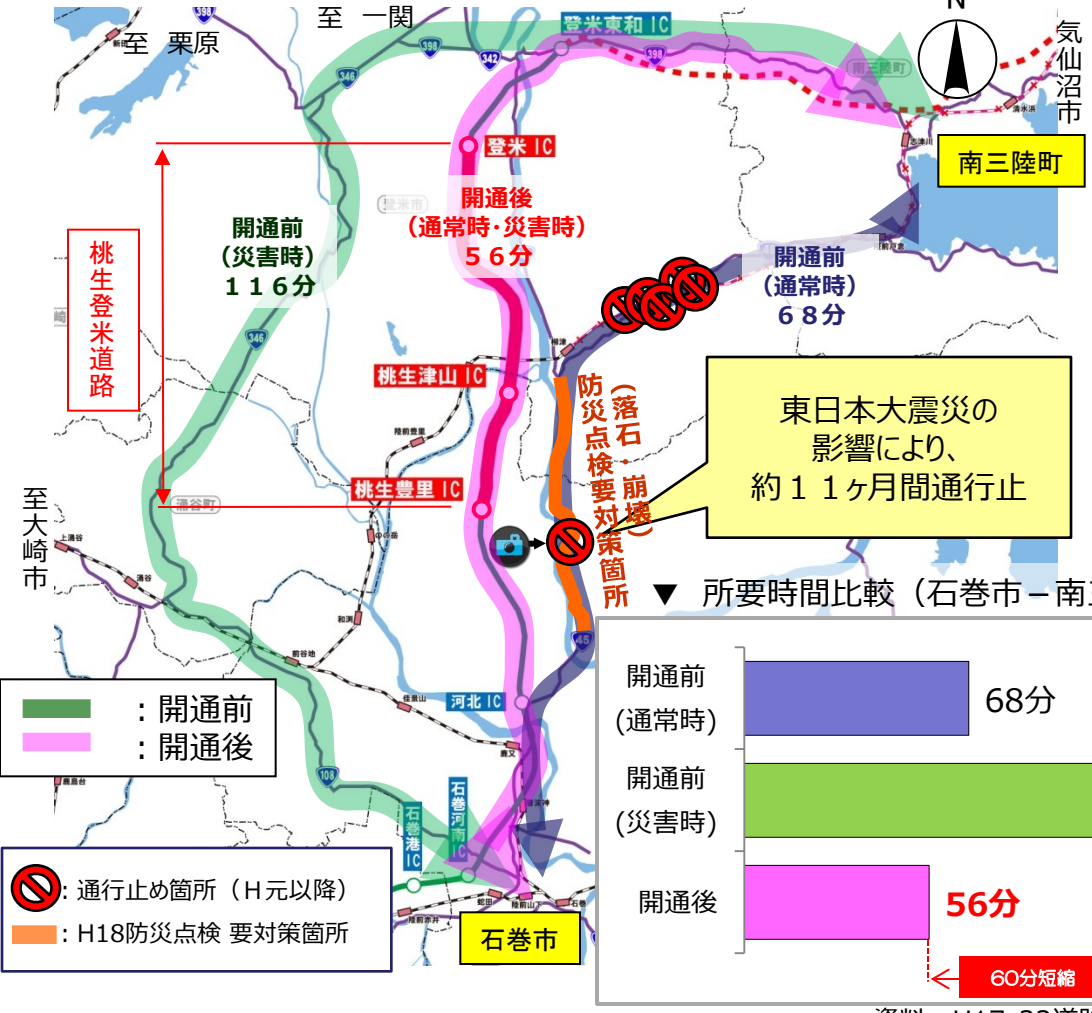


▲石巻赤十字病院に直結する救急車退出路

緊急輸送道路としての信頼性向上に寄与

◆国道45号は、台風等での通行止めや東日本大震災時での通行止め（約11ヶ月間）等、通行規制が多い路線。
◆桃生登米道路の開通により、国道45号通行止め時（災害時）における石巻市と南三陸町の所要時間が60分短縮され、緊急輸送道路としての信頼性向上に寄与。

▼ 国道45号の既往通行止め箇所と迂回経路変化



▼ 所要時間比較（石巻市－南三陸町）

資料：H17･22道路交通センサス

▼国道４５号現道の通行規制履歴（平成元年以降）

発生年月日	気象状況	通行止時間
H 2.11. 4	路面冠水	4時間20分（11/4～11/5）
H 3. 9. 9	台風１８号	7時間30分（9/19）
H14. 7.11	台風　６号	1時間25分（7/11）
H21.10. 8	低気圧	16時間15分（10/8～10/9）
H23.3.11	**東日本大震災**	**11ヶ月57時間（3/11～2/3）**
H23. 9.21	台風１５号	15時間（9/21～9/22）

▼ 震災による斜面崩壊で通行止めとなった国道45号
（平成２３年１２月－石巻市成田地区）



東日本大震災時には緊急物資輸送道路として機能

◆東日本大震災時、桃生登米道路を含めた三陸沿岸道路は緊急物資輸送道路として機能。
◆震災後、桃生登米道路は復興道路として復興事業等による交通量増加に対応。



通行規制が解除され、三陸道に乗り入れる一般車両（奥）＝30日午前９時ごろ、登米市の登米東和ＩＣ入り口

三陸道 全線で規制解除
救援物資 輸送加速へ

東日本大震災の影響で一般車両が通行止めとなっていた三陸自動車道の鳴瀬奥松島インターチェンジ（ＩＣ）－登米東和ＩＣ間（45.3キロ）で30日、規制が解除された。甚大な被害を受けた石巻市、宮城県南三陸町など沿岸部へのアクセスが大幅に改善し、被災地への救援物資の輸送が加速する。

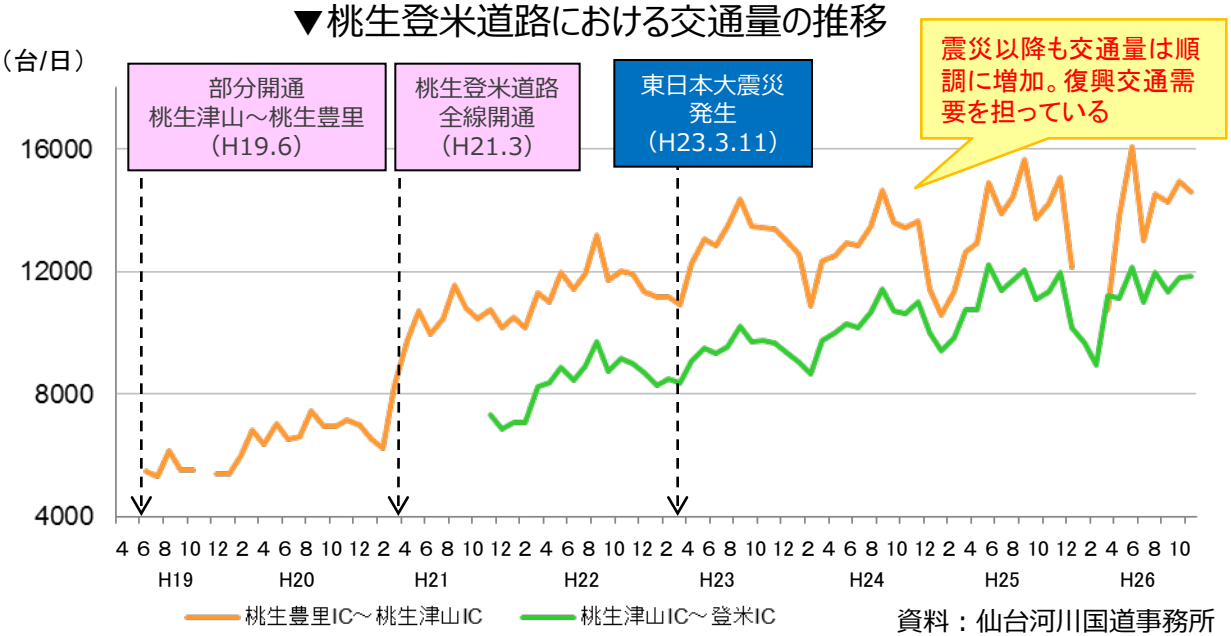
規制は午前6時に解除した。緊急車両に交じって一般車両も乗り入れたが、ガソリン不足を反映してか、一部で渋滞が見られた程度だった。

南三陸町の避難所に身を寄せる無職さん(64)は、登米東和ＩＣから石巻市に向けて三陸道を利用。「妻や娘の家族と明後日に県南に転居するので、病院の紹介状をもらう必要があった。通行再開はありがたい」と話した。

三陸道の全面復旧で宮城県内の高速道は、震災に伴う交通規制が全て解除された。

資料：河北新報（H23.3.31）

▼桃生登米道路における交通量の推移



資料：仙台河川国道事務所



資料：震災伝承館
▲震災後の国道４５号の状況
（南三陸町戸倉）



資料：仙台河川国道事務所「東日本大震災活動記録」
▲三陸道を通行する緊急車両の様子
（登米市豊里町）

■桃生登米道路沿線住民の声

○支援物資が早く来たので助かった。
○三陸沿岸道路（桃生登米道路）がなく、国道４５号だけでは復旧や復興はまだまだ進まなかったと感じている。
○被災地の物流を支える大動脈となり、助かった。非常に感謝している。

資料：H25.11住民WEBアンケート

事業の目的と概要

○事業目的
- 桃生登米道路は三陸沿岸道路の一部を形成
- 宮城県北沿岸地域の交流・連携の促進
- 緊急輸送道路の信頼性の向上

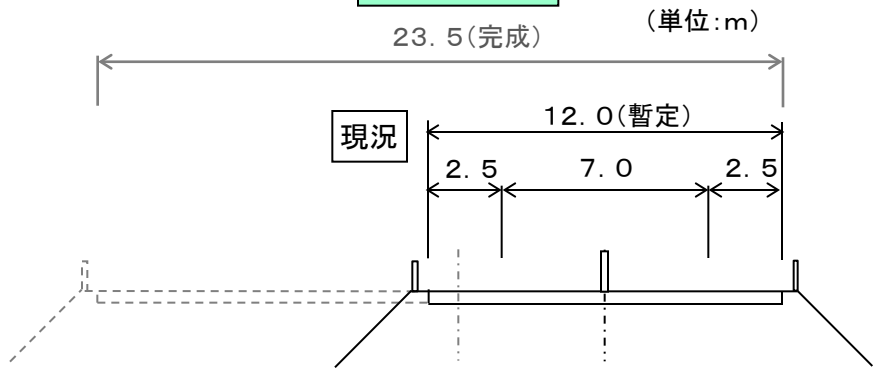
○計画概要

起終点	：自：宮城県石巻市桃生町太田（いしのまき　ものうちょう　おおた）
	至：宮城県登米市中田町浅水（とめ　なかたちょうあさみず）
延長	：１３．８ｋｍ
幅員	：（暫定）１２．０ｍ
	（完成）２３．５ｍ
道路規格	：第１種第２級
設計速度	：１００km/h
事業化	：平成　５年度
用地着手	：平成１２年度
工事着手	：平成１４年度
全線開通年度	：平成２０年度（平成２１年３月）

位置図



標準横断図



平面図

